

令和4年度 遠野市立綾織小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立綾織小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 時間外在校等時間が月 60 時間以上の職員が 3 人、年間 360 時間以上の職員が 6 人いる。
- ◆ 特定の職員（主任層、高学年担任）に業務が集中しており、時間外勤務が常態化している。
- ◆ 「ノー残業デー」の働き掛けが弱く、職員の意識が低い。

目指す姿

- ◆ 教職員が自分自身で時間外在校等時間を把握し、適宜業務改善に取り組んでいる。
- ◆ 管理職が職員の時間外在校等時間の状況を把握し、適宜業務改善や助言を行っている。
- ◆ 教職員一人一人が授業や授業準備等に集中し、健康でいきいきと働きがいをもって業務に取り組んでいる。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校等時間の削減

- ◆ 毎月の職員会議で前月の時間外在校等時間の状況を共有し、意識付けを図る。
- ◆ 時間外勤務が慢性的に多い教職員に対しては、その要因の把握を行い、改善の方向性について話し合う時間を設定する。

取組② 業務改善の推進

- ◆ 時程の見直しを行い、放課後の業務時間を確保する。
- ◆ 働き方改革推進会議を開き、「業務スクラップ」について全職員で協議し、実行する。
- ◆ 資料の事前配付や説明内容の精選などにより、職員会議の時間を短縮する。

取組③ 定時退庁の意識化

- ◆ 週末に「ノー残業デー」を設定し、管理職から積極的に声掛けをして定時退庁に努める。

具体的成果目標	関係する重点取組
目標① 時間外在校等時間が月 60 時間以上の人数を 1 人にする	①、②、③
目標② 職員会議の実施時間を 1 時間 15 分以内にする	②
目標③ 教職員全員が月に 1 回以上定時退庁をする	③